

ふじさわSDGs共創パートナー取組実績報告書

2023年度の取組実績を次のとおり報告します。

報告日

2024年5月28日

企業・団体名



No	具体的な取組内容	2024年度の取組予定
1	<p>【笑顔あふれるみらいを応援します。】</p> <p>(SDGsの理解促進及び実践)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年施設においてブルーカーボンに関する学習会、SDGsの基礎から実践までを学ぶ講座、多様な性に関する講演会などを開催し、子ども及び保護者へSDGsの理解促進に努めました。 ・森の再生を目的とした植樹会、間伐材を活用したおもちゃやキャンプ用品の製作、田植え・稲刈り体験、海岸清掃など、自然の豊かさを理解し大切にすることを実践する事業を開催しました。 <p>(誰もがスポーツや芸術・文化に触れることができる機会の提供と環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体やボランティアの協力を得て、様々な年代を対象としたスポーツ教室、障がいのある方を対象としたスポーツ教室やイベント、障がいの有無にかかわらず参加できるパラスポーツ事業を開催するとともに、ポッチャコート常設し、誰でもスポーツに楽しめる環境づくりに努めました。 ・公演時に託児サービスを行い、小さな子どもがいる子育て世帯の方にも芸術鑑賞の機会を提供しました。 ・市民会館ホールを使用して主催する全有料公演において障がい者割引を設け、鑑賞の機会を提供しました。また、芸術文化に触れる機会の少ない子どもや若者を対象として、子ども割引や25歳以下割引を実施しました。 ・R6年度の本財団芸術文化活動団体助成金交付に係る審査にあたり、「障がい者と芸術文化をつなぐ取組」を審査項目に加え、他団体が行う活動においても障がいの者の芸術文化体験機会の拡大に取り組みました。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社会福祉協議会の協力を得て、学校長期休業時における学習支援活動に、子ども食堂を合体した事業を初めて実施しました。 ・夏季学校休業期間において、「みらいサマースクール」を初めて開催し、安全安心な子どもの居場所確保とともにスポーツや芸術文化など様々な体験を提供しました。 ・発達に特性のある子どもを迎える準備として、職員が藤沢市の支援教育を学びました。 	<p>(SDGsの普及、理解促進及び実践)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年を対象として、広く浅い単発的事業とより深い理解に取り組み継続的取組の両輪でSDGsの理解促進と実践に継続して取り組みます。また、多様な性の理解促進のためLGBTQに関する事業を継続します。 ・「もったいない」を合言葉にして、子どもたちが主体的に行うフードロスや貧困への取組を継続して実施します。 ・少年の森において、間伐材を利用したキャンプ道具などの製作や薪ストーブの設置などの資源再活用や、ナラ枯れからの森の再生を目的とした植樹会を継続して行います。 ・青少年会館において、パソコン開放による学習支援や学校長期休業期間における学習支援&子ども食堂事業を継続して実施します。 ・ありたい姿に向けたバックキャスティング方式で子どもたちをサポートします。 ・放課後児童クラブが在籍児童、保護者にとって安全で安心な場所となるよう環境維持に努めるとともに、児童がSDGsの取組に興味を持ち、豊かな活動になるよう継続して取組を実施します。 <p>(誰もがスポーツや芸術・文化に触れる機会の提供と環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や関連団体・ボランティア等と連携を図り、各世代を対象としたスポーツ教室やイベント等を実施します。 ・共生社会の実現を図るため、スポーツボランティアの「リーダー」を養成する講習会や、インクルーシブスポーツ事業を実施します。 ・地域団体・関連団体と共に、子どもから高齢者、障がいのある方など誰もが音楽や演劇、芸術作品などを鑑賞・体験できる機会を提供します。 ・青少年を対象とした体験活動やスポーツ事業参加に就学援助世帯の減額制度を継続します。 ・第25回藤沢市民オペラ『魔笛』において、一部の席で18歳以下の子どもの無料招待を実施します。 ・市民会館等のホールで実施する主催事業については、車いす等の障がい者割引(2割引)を実施するほか、全ての事業において、障がいのある方も鑑賞できるよう合理的配慮を行います。

No	具体的な取組内容	2024年度の取組予定
2	<p>【全ての職員が安全で安心して働くことのできる職場環境をつくります。】</p> <p>1 組織全体の労働安全衛生向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員全体の健康維持のため、対面及びオンラインのハイブリッド形式で大多数の職員が参加する「ラジオ体操」研修会を行い、各職場において毎朝ラジオ体操を実践しました。また、執務中に椅子に座ったままでできる簡単な運動「ちょこトレ」の動画を製作して共有し、各職員による実践を推奨しました。 対人関係から起こるコミュニケーション摩擦の軽減を図るための「コミュニケーション術と具体的な対応方法」をテーマとした研修会や、産業医による「病気の症状と所見の現れ方について」の研修会を開催し、心と体の両面からの健康維持に関する啓発を行いました。 安全衛生全般に係る情報や心の健康対策に関する情報が掲載された行政ホームページや関連情報を周知するチラシを作成し、労働安全衛生の啓発に努めました。 <p>2 相談体制の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業医による対面のメンタルヘルス相談を健康相談全般に係る相談に変更するとともに、いつでも相談ができる外部機関相談窓口設置を継続し、相談しやすい環境づくりに努めました。 <p>3 職員間の良好な関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例の担当職員会議開始前のすき間時間を活用してアイスブレイクや協力して行う簡単なゲームを実施することにより、職員同士が経験年数や職務に関係なく親しくなり相談しやすい関係づくりの構築に努めました。 職員の健康、メンタルヘルス管理の一環として、課内会議の際に体調の変化などについて共有する時間を設けました。 	<p>1 組織全体の労働安全衛生向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団全体の労働安全衛生向上組織内に設置された目的別・組織別分科会において、それぞれの特性に応じた研修企画や情報提供等を継続して行います。 毎朝、各職場においてラジオ体操を継続実施します。 <p>2 相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業医による健康全般についての定期的相談及びいつでも相談できる外部相談機関の複数の相談チャンネルを継続して設置するとともに、更なる相談しやすい体制を検討します。 <p>3 職員間の良好な関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての職員の協力のもと、引き続き、相談しやすい職場環境づくりを進めます。
3	<p>【資源の節約など、地球環境に配慮した取り組みを進めます。】</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン会議を推奨し、会議資料の印刷量削減、職員移動の削減による車両使用の燃料削減等資源節約とともに、業務の効率化を図りました。 執務室等の照度調整やこまめな消灯、体育施設照明のLED化、トイレ照明への人感センサー設置、遮光カーテンやグリーンカーテンの設置による空調効率の向上などにより電力使用量の削減に努めました。 体育施設のシャワーに節水装置を設置し、水使用量の削減に取り組みました。 各職場において、定期的に施設周辺の清掃を実施し、地域の良好な環境維持に努めました。 実行委員会事務局を務める第14回湘南藤沢市民マラソン2024において、参加者1万人に自宅から江の島島内までの「クリーン活動」を呼びかけ、実施しました。 藤沢市の「涼み処」事業としての施設ロビーの提供や高温時のスポーツ施設使用キャンセルの際の料金還付を行うなど、熱中症防止の一助となる取組を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルペーパーの購入、両面印刷の徹底、不用紙の裏面使用、カラー印刷の必要性の検討の徹底を図り、紙やインクの使用量の更なる削減を図ります。 業務の更なるICT化やオンライン会議の標準化により、業務の効率化と資源の節減を進めます。 執務室等の照度調整やこまめな消灯、トイレ照明への人感センサー設置、シャワーの節水装置などにより、節電・節水の取組を継続します。 日ごとの状況に合わせ、こまめに冷暖房の設定を調節し、エネルギーの節約に努めます。 第15回湘南藤沢市民マラソン2025においても、前回大会同様1万人のクリーン活動を実施します。 各職場における定期的な施設周辺清掃活動を継続します。 藤沢市の「ひと涼み処」事業に協力し、施設ロビーの提供を行います。